

第1回地震・災害に強いまちづくり検討委員会（仮称）報告
H24. 4. 11

南伊勢町の概要と 地震・津波災害対策の取り組み

三重県南伊勢町

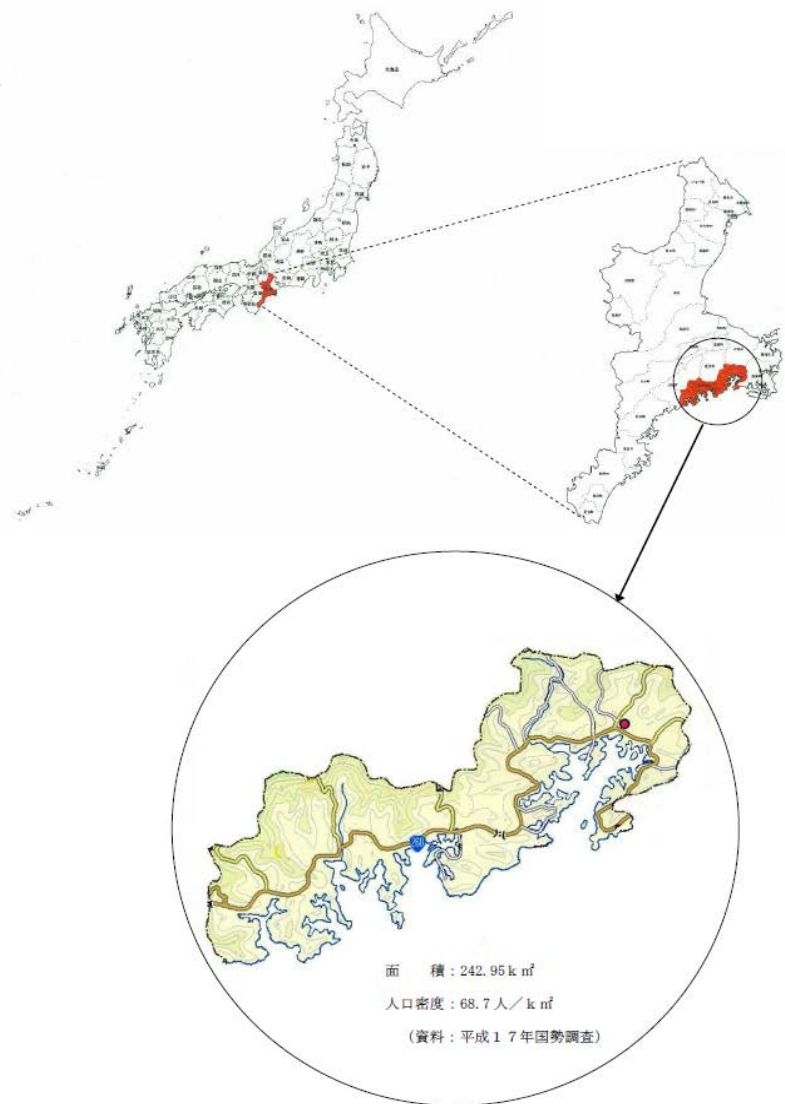
三重県南伊勢町の概要

○2005. 10. 1南勢町、南島町の過疎の2町
が合併(合併時人口16,687人)

- ・面積 242.98km²
 - うち山林 84.7%
 - うち耕地 2.8%
 - うち宅地 1.1%
- ・海岸延長 245.6km(三重県1,083km)
- ・町域の約60%が伊勢志摩国立公園
- ・平均気温 約16度
- ・年間降水量 約2,010mm

○道路事情

- ・町内の基幹道路は東西へ町を縦断する国
道260号のみ
- ・国道260号の町内延長 約55km
- ・鉄道なし



人口、財政等の状況

○人口(住民基本台帳) 14,791人(22国調)

- ・年少人口割合 8.8%(県13.7%)
- ・生産年齢人口割合 48.0%(県62.0%)
- ・高齢人口割合 43.2%(県24.3%)
- ・産業構造(就業者比率:22国調)
1次産業21.5%、2次産業20.7%
3次産業57.8%

○将来の推計人口等(人、%、区)
(人口問題研究所推計)

年	2010	2020	2030
人口(人)	15,000	12,300	9,300
高齢化率(%)	42	48	50
50%超地区数	8/38	17/38	22/38

○財政基盤(H22決算)

財政規模	8,905百万円
標準財政規模	6,266百万円
財政力指数	0.237
経常収支比率	87.3%
実質赤字比率	—
連結実質赤字比率	—
実質公債費比率	11.6%
将来負担比率	69.4%

○今後の財政負担

地震、津波対策(施設の高台移転等)
簡易水道事業の統合
下水道整備
病院建設
その他大規模建設多数

まちづくりの方向性：新しい総合計画

○基本理念

町民起点のまちづくり
まちづくりの出発点は「町民」
判断基準は「町民にとってどうか」

○めざす南伊勢町のすがた

安全・安心を実現し、
希望をもち誇れる南伊勢町

○まちづくりの基本姿勢

町民が実感できるまちづくり
自分からまちづくりをしている実感
ともにまちづくりを担っている実感
まちづくりに貢献している実感

○役場の基本姿勢

町民とともに考え、
ともに取り組む役場

情報の提供と共有
町民と役場がともに検討する場づくり
町民の取り組みと連携して総計を進める
総計の進捗を検証して共有
役場のあり方改革

○まちづくり5つの目標

- 目標1 安全で安心して住めるまち
- 目標2 希望の見つかるまち
- 目標3 新しい誇りをうみだすまち
- 目標4 笑顔でいきいき暮せるまち
- 目標5 みんなでまちづくりを実現するまち

南伊勢町の課題

- 地震、津波災害対策(町内38地区うち37地区が海拔10m以下)
- 人口減少問題への対応
 - 11.36%の人口減(H17国調→H22国調)
 - 少子化(年間出生数60人弱、年少者比率8.8%)
 - 若者定住(生産年齢比率48%)
- 高齢者対策(高齢者比率43%)
 - 医療、介護
 - 通院、買い物
- 産業振興
 - 地域活力の維持
 - 水産業、農林業、観光産業
 - 県南部活性化対策との協働
- 行財政改革、地方分権への対応

津波、地震動の被害想定

津波被害想定

(平成23年12月 三重県公表)

古和浦	最大津波高	6.99m
	最大到達時間	22分

槌柄浦	最大津波高	12.18m
	最大到達時間	19分

五ヶ所浦	最大津波高	7.19m
	最大到達時間	29分

宿浦	最大津波高	8.19m
	最大到達時間	29分

地震動被害想定

(平成17年3月 三重県公表)

予想震度 最大震度 7



現在の取り組み

- (1) 避難路、避難場所の確保
- (2) 2次避難場所、救援物資の確保
- (3) 情報伝達の確保
- (4) 公共施設の高台移転
- (5) 揺れたら逃げる防災意識の高揚
- (6) 高齢者や要援護者の避難対策
- (7) その他

避難路、避難場所の確保

◎H23年8月中に1次避難場所を20m以上の高台に変更(38地区274箇所⇒230箇所)

◎避難路、避難場所の緊急整備(官民協働・役割分担)

◎避難場所等にソーラー照明の整備

◎海拔表示及び避難誘導標識の整備(近隣市町とのデザインの共有化)

◎裏山及び避難路の危険木の伐採事業



平成23年度に整備を行った避難路、避難場所

2次避難場所、避難物資の確保

◎備蓄倉庫、備蓄食料の整備(3日分の食糧:避難民の3割⇒5割)

◎公共施設の耐震化の実施(保育所・小中学校実施済)

◎公共施設整備時における太陽光発電などの新エネルギーの導入

◎近隣町の災害時における相互応援協定(避難場所等)



全地区への整備を予定している防災備蓄倉庫

情報伝達の確保

◎各戸に個別受信機の整備（緊急地震速報等の自動放送）

◎衛星携帯電話の整備（平成24年度）



防災行政無線戸別受信機

公共施設の高台移転

◎災害対策本部機能の高台移転の検討(平成24年度は本部機能の高台移転を想定し移転に必要な機能の調査検討を実施)

◎保育所・町立病院の高台移転の検討

◎津波が発生した際の病院や福祉施設の被害対策の検討の実施(平成24年度)



災害対策本部のある南伊勢町役場南勢庁舎
(敷地海拔約4m)

揺れたら逃げる 防災意識の高揚

◎近隣町との災害時における相互応援協定(避難場所等)

◎三重大学、中部電力との協力による防災教育(ワークショップ)

※H22 2地区実施

H23 2地区実施

◎総合防災訓練等の実施

津波想定で実施

H22.9 } 一時避難場所
H23.12 } へ15分で到着
できるかの確認

地震・津波がやってくる!?
さて、どうする?

私たち一人ひとりが、防災について考える集い

ロビー 催し	大ホール 講演
3.11 写真展を開催いたします	古文書に基づいた「創作紙芝居」 NPO法人みなみいせ市民活動ネット 理事長 仲西 栄助
非常食を無料配布いたします (講演終了後にお受け取りください)	「3.11 南伊勢町と被災地」 南伊勢町防災課 係長 瀬古 智秀
無料耐震診断相談会を開催します (会場でお申込みを受付けます)	巨大地震・大津波に備える 三重大学大学院工学研究科/自然災害対策室 准教授 川口 淳先生
高齢者世帯の無料家具取付のお申込みを受付けます。	
防災グッズを展示いたします	

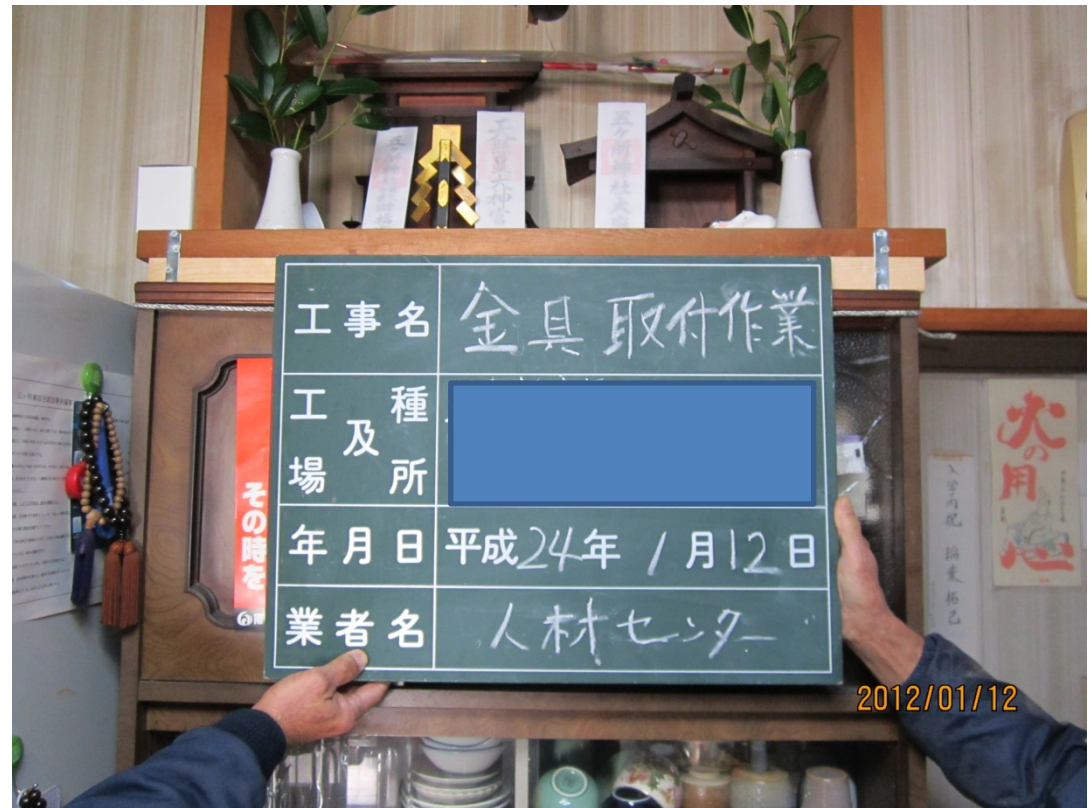
4月21日(土) 午後2時開演 1時開場
会場 南伊勢町民文化会館大ホール・ロビー
—— 共 催 ——
南伊勢町 ・ 南伊勢町区長連絡協議会
NPO法人みなみいせ市民活動ネット

町民との協働による地震・津波講演会の開催

高齢者や要援護者の避難対策

◎ゴムバンド体操及び防災ミニ講座（要援護者を作らないために）

◎要援護者宅の家具固定事業及び一般家庭に取付金具の補助



シルバー人材センターを活用した
要援護者家具固定支援事業の様子

その他

◎落橋防止対策(15m以上はH25年で完了予定)

◎新しい避難場所等のデジタル地図の作成

◎災害時における物資提供にかかる協定の締結

◎耐震補強補助

◎電子データの遠隔地保管
など



今後の取り組み

- ◎避難路、避難場所、ソーラー照明の整備
- ◎公共施設及び民間住宅の耐震化
- ◎公共施設整備時における太陽光発電などの新エネルギーの導入
- ◎国道260号などの緊急輸送路の整備
- ◎集落内河川の落橋防止対策(孤立化対策)
- ◎地区災害対策本部体制の充実強化(各地区孤立化想定)
- ◎孤立集落に対する備蓄物資の確保
備蓄倉庫及び備蓄品の更なる整備
- ◎町民の防災意識の向上と避難訓練
- ◎災害対策本部機能の高台移転の検討
- ◎広域及び、地区単位の通信網の整備 等
防災無線だけではなく、衛星携帯電話やアマチュア無線の整備